

mLAN Patchbay マニュアル

「mLAN Patchbay」は、コンピュータから mLAN バス(システム)上にある mLAN 機器の mLAN プラグ(仮想的な入出力端子)の接続/切断を設定したり、各 mLAN 機器の同期設定を管理したりすることを目的としたアプリケーションです。
Macintosh 版は IEEE(アイトリプルイー)1394、Windows 版はシリアルインターフェース経由で mLAN 機器を管理します。

目次

mLAN Patchbay の起動	2
Windows98/95 の場合	2
Macintosh の場合	2
メニューバー	3
File	3
Edit	4
View	5
Option	6
Help (Windows のみ)	10
メインウィンドウ	11
タブ	11
ツールボタン	11
データリスト	13
操作方法	15
コネクションの設定	15
コネクションの切断	16
Master、Slave の設定	16
Master、Slave のモード設定	17

■ご注意

- ・このアプリケーションおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・このアプリケーションおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・市販の音楽データは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。
ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・このアプリケーションおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このマニュアルに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・このマニュアルに掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

このマニュアルは、お客様が Windows/Macintosh の基本的な操作方法について十分おわかりいただいていることを前提に書かれています。Windows/Macintosh の操作方法については、Windows/Macintosh に付属のマニュアルをご参照ください。
mLAN Patchbay を使用するために必要なコンピュータ環境、機器の接続、mLAN Patchbay のインストールについては、別冊の「インストールガイド」およびご使用の mLAN 機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

mLAN Patchbayの起動

mLAN Patchbay のインストールと必要な接続を行なったあと、以下の操作で mLAN Patchbay を起動します。

Windows98/95 の場合

Windows98/95 の「スタート」ボタン→「プログラム(P)」メニュー→「mLAN Tools」から「mLAN Patchbay」を選択します。

NOTE

mLAN Patchbay を起動してしばらくしてもバスの状態を読み込めない場合、Serial Port の値とシリアルケーブルを接続したパソコンの COM ポートが一致しているか、他のアプリケーションが使用していないかを確認してください(P.8)。

Macintosh の場合

mLAN Patchbay のアイコンをダブルクリックします。

メニューバー

File

New

新規のファイルを作成します。Audio、MIDIページには、現状のバス(システム)上にあるすべてのmLANプラグが未接続の状態が表示されます。WCLKページには、現在のバス上のワードクロック(同期)状況が表示されます。最新のバス上の接続状態を表示させたい場合は、[Option]メニューから[Update]を選択します。

Open...

既存のファイルを開きます。保存されていた接続状態(Audio/MIDIページ)、同期状態(WCLKページ)が表示されます。ファイルを開いただけでは、バス上に反映されません。

すべてのページの状態を反映させたい場合は、[Option]メニューから[Apply]を選択します。

Close...

現在編集中のファイルを閉じます。

Save

現在編集中のファイルを上書き保存します。

Save As...

現在編集中のファイルを別名で保存します。

Print...(Windows のみ)

現在選ばれているページを印刷します。

Information(Property)

Information (Property) ダイアログを開き、選択されているmLANプラグまたはmLAN機器の詳細情報を表示します。Information (Property) ダイアログでは、Nicknameを変更することができます。

NOTE Property で変更した Nickname は、[Option]メニューの[Apply]を実行するまで、バス上には反映されません。

Quit

mLAN Patchbayを終了します。

Edit

Undo/Redo

Undoは、直前にエディットした結果を元に戻します。Undo実行後、表示はRedoに変わります。RedoはUndoで取り消されたエディットの結果を再び呼び出します。

Disconnect

選択されているmLANプラグの接続を切断して、クリップボードに保存します。WCLKページでは、使用できません。

Copy

選択されているmLANプラグをコピーして、クリップボードに保存します。

WCLKページでは、使用できません。

Paste

クリップボードにコピーされているmLANプラグを選択されているmLANプラグに接続します。WCLKページでは、使用できません。

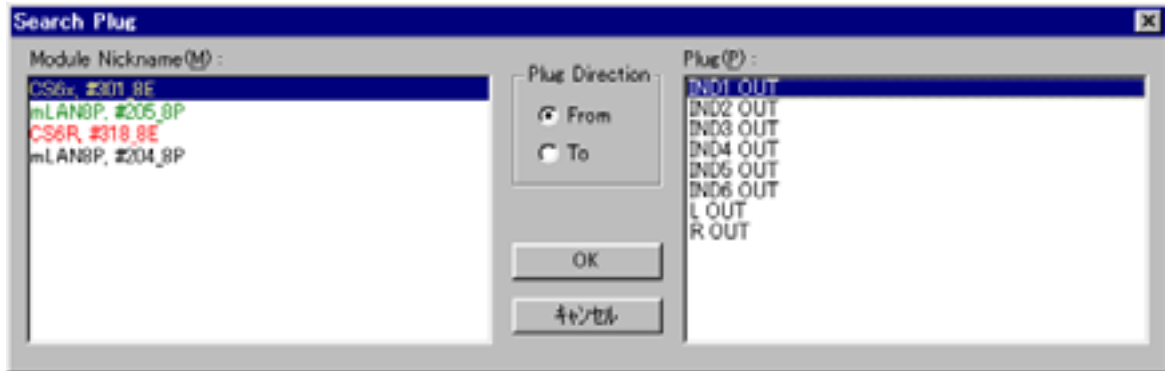
Search...(Windowsのみ)

Search Plugダイアログを開きます。WCLKページでは、使用できません。

NOTE 検索したい mLAN プラグに応じて、あらかじめ Audio または MIDI のページを開いておきます。

Search Plug ダイアログ

Search Plug ダイアログでは目的の mLAN プラグの位置を検索することができます。



1. Module Nickname欄から検索したいmLANプラグのあるmLAN機器を選択します。
2. Plug Directionの欄で、From(出力プラグ)かTo(入力プラグ)かを選択します。
3. Plugの欄から検索したいmLANプラグを選択し、[OK]をクリックします。

Disconnect All

選択されたmLANプラグに接続されているmLANプラグをすべて切断します。WCLKページでは、使用できません。

Disconnect Field All

指定されたmLAN機器のすべてのmLANプラグ(出力プラグ/入力プラグ)を切断します。

From側を選択している場合は、To側のmLANプラグがすべて切断され、To側を選択している場合は、From側のmLANプラグがすべて切断されます。WCLKページでは、使用できません。

Connect All(Windowsのみ)

クリップボードにコピーされているすべてのmLANプラグを、指定したmLAN機器のすべてのmLANプラグに接続します。Audioページでのみ使用できます。

View

View Toolbar

ツールボタンの表示/非表示を指定します。

Status bar(Macintoshのみ)

ステータスの表示/非表示を選択します。

Column Filter

データリストに表示する項目の表示/非表示を選択します。

Vender:ベンダー項目の表示/非表示を指定します。

Module:モジュール項目の表示/非表示を指定します。

Nickname:ニックネーム項目の表示/非表示を指定します。WCLKページでは、使用できません。

Plug Name:プラグネーム項目の表示/非表示を指定します。WCLKページでは、使用できません。

Format:フォーマット項目の表示/非表示を指定します。WCLKページでは、使用できません。

Option

Update

現在のバス上のmLAN機器と、その設定状態を関係するページに表示させます。

Apply

すべてのページで設定した状態をバス上のmLAN機器に反映させます。

NOTE Apply を実行後、アプリケーションの状態と mLAN 機器の状態が同じにならないことがあります。

Apply を実行した後は、Update を実行するか Auto Update 機能(P10)をご使用ください。

Identify

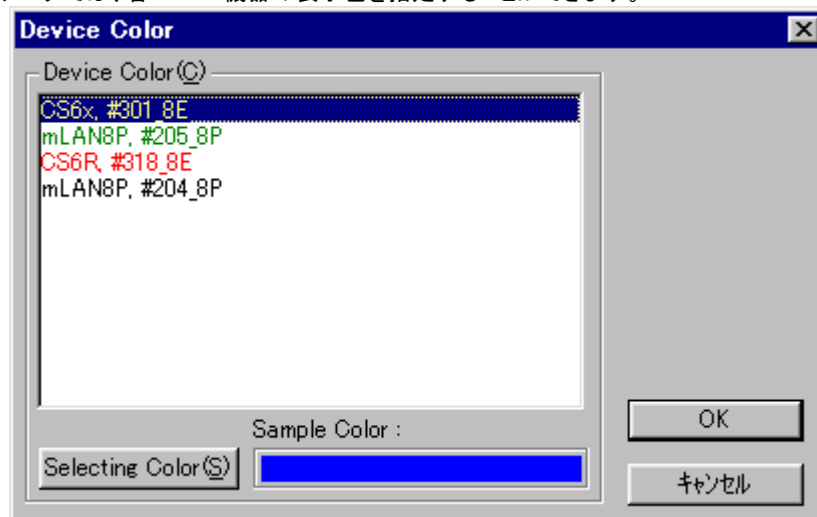
選択されているmLAN機器へ、Identifyを発行します。Identifyを受け取ったmLAN機器のmLAN端子のLEDは5秒間点滅します。

Device Color...(Windows のみ)

Device Colorダイアログを開きます。

Device Color ダイアログ

Device Color ダイアログでは、各 mLAN 機器の表示色を指定することができます。



1. Device Colorを指定するmLAN機器を選択します。
2. [Selecting Color]をクリックします。色ダイアログが開きます。
3. 各mLAN機器に使用したい色を選択します。

NOTE 色をカスタマイズしたい場合は、[色の作成]をクリックして、好みの色を追加をします。

4. [OK]をクリックします。選択した色がSample Colorに表示されます。
5. [OK]をクリックすると、各mLAN機器の表示色が変更されます。色を変更しない場合は[キャンセル]をクリックします。

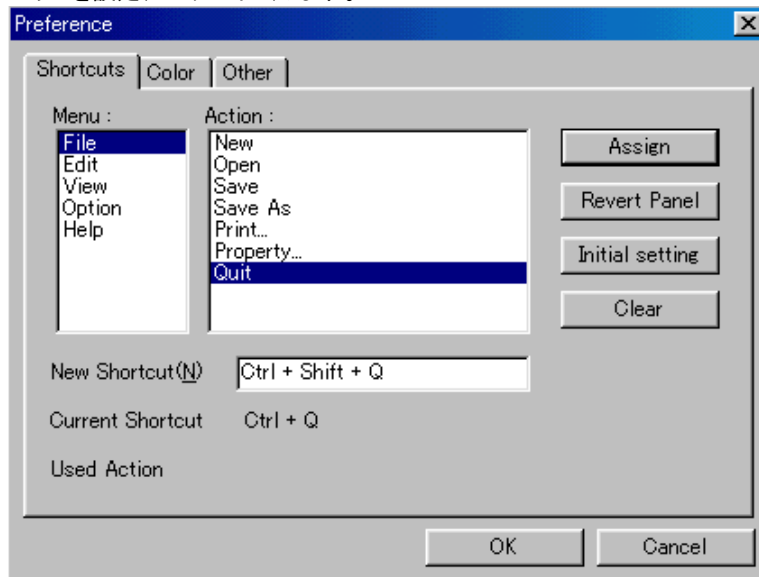
Preference (Windows のみ)

Preferenceダイアログを開きます。PreferenceダイアログではShortcuts、Color、Otherの設定を行ないます。

Preference ダイアログ

Shortcuts

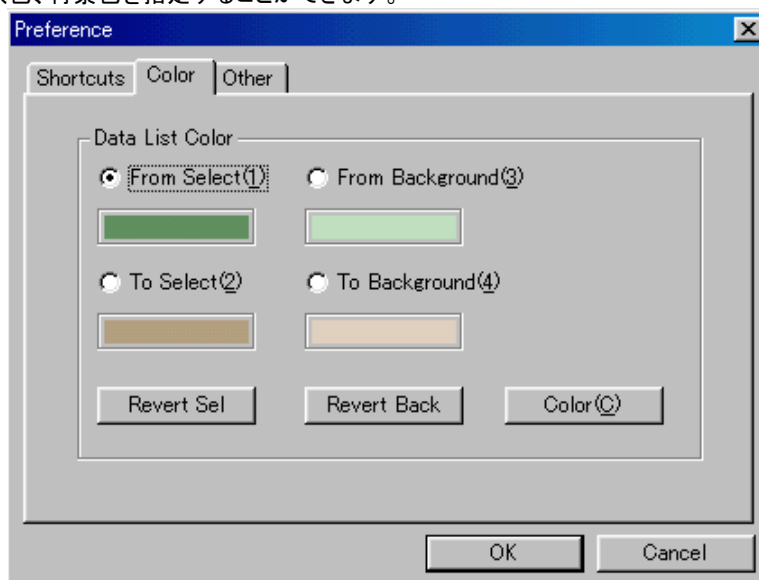
メニューのショートカットキーを設定(カスタマイズ)します。



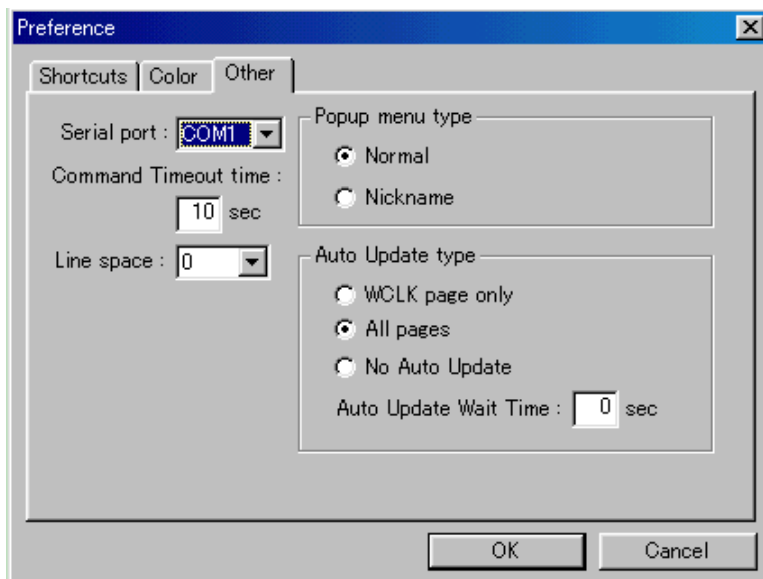
1. ショートカットキーを設定するメニューを選択します。
2. New Shortcut欄をクリックして、ショートカットに設定したいキーを押します。
3. [Assign]をクリックして設定を確定します。[Revert Panel]をクリックすると一つ前の設定に戻ります。[Initial setting]をクリックすると初期設定(Ctrl+Actionの頭文字)に設定します。設定をクリアする場合は[Clear]をクリックします。

Color

データリスト内の選択色、背景色を指定することができます。



1. 変更したい項目を選択し、[Color]をクリックします。色ダイアログが開きます。
2. 使用したい色を選択します。
3. [OK]をクリックします。選択した色が項目の下に表示されます。[Revert Sel]、[Revert Back]をクリックすると、選択色、背景色をそれぞれ初期設定に戻します。



Serial port: コンピュータとmLAN機器とを接続するCOMポートを選択します。

NOTE データが読み込めない場合など、この値とCOMポートが一致しているかを確認してください。

Command Timeout Time :

mLAN機器にコマンドを発行し応答が返ってくるまでの制限時間を設定します。

Line space: ページ上にmLANプラグまたはmLAN機器を表示する際の表示間隔を指定します。

Popup menu type: Audio、MIDIページのmLANプラグ接続時のポップアップメニュー、WCLKページのSlaveのmLAN機器に対してのManualモードにおけるMasterのmLAN機器を選択する際の表示方法を選択します。

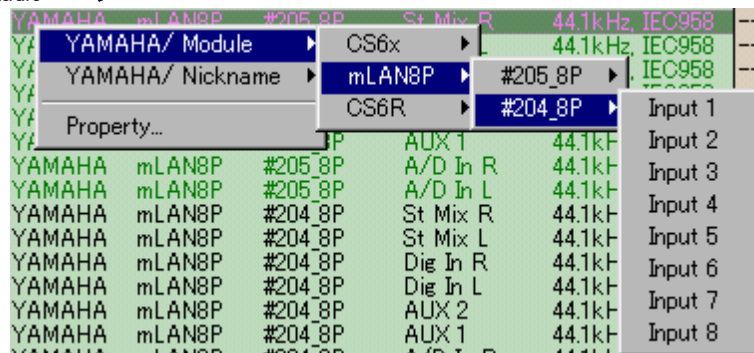
Popup menu の表示

Audio、MIDI ページの場合

“Normal”を指定した場合、ポップアップメニューは次のイラストのように表示されます。

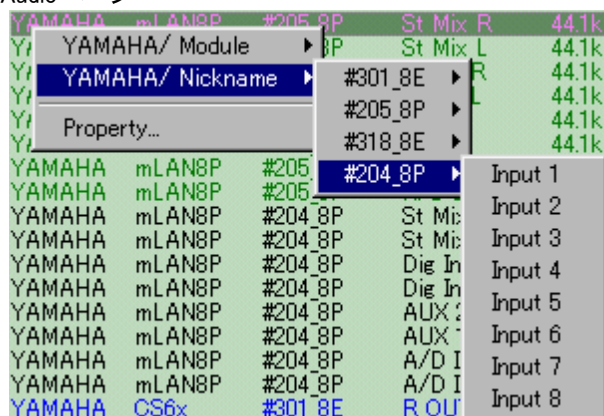
上段は、モジュール名からプラグ名までをたどります。

Audio ページ



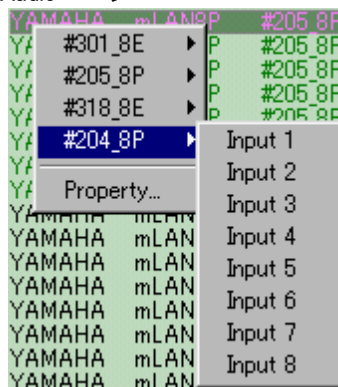
下段は、モジュール名を飛ばしてニックネームからプラグ名までをたどります。

Audio ページ



“Nickname”を指定した場合は、次のイラストのように Vender/Module が省かれ、Nickname から表示されます。

Audio ページ



WCLK ページの場合

“Normal”を指定した場合、ポップアップメニューは次のイラストのように表示されます。

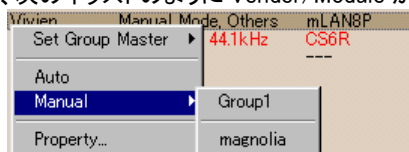
上段は、モジュール名からニックネームまでをたどります。



下段は、モジュール名を飛ばしてニックネームをたどります。



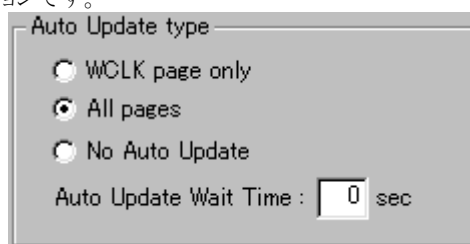
“Nickname”を指定した場合は、次のイラストのように Vender/Module が省かれ、Nickname から表示されます。



NOTE Ctrl キーを押しながら右クリックをすると、選択された Popup menu type と別の type のポップアップメニューが表示されます。

Auto Update type:

Applyコマンドを実行時のオプションです。



WCLK page only

Apply終了後、自動的にWCLKページの表示を最新のバス上の状態に更新します。Apply後、同期情報を確認するのに便利です。

All pages

Apply終了後、自動的にすべてのページの表示を最新のバス上の状態に更新します。Apply後、すべての情報がバス上に正しく反映できたかを確認するのに便利です。

No Auto Update

Apply終了後何もしません。

Auto Update Wait Time

Apply後の表示を最新のバス上の状態に更新を開始する場合の、インターバル(間隔)時間を指定します。単位は秒です。

NOTE 初期設定は 3 秒です。mLAN 機器を 6 台以上接続した場合は、3 秒よりも長めに設定してください。

Help (Windows のみ)

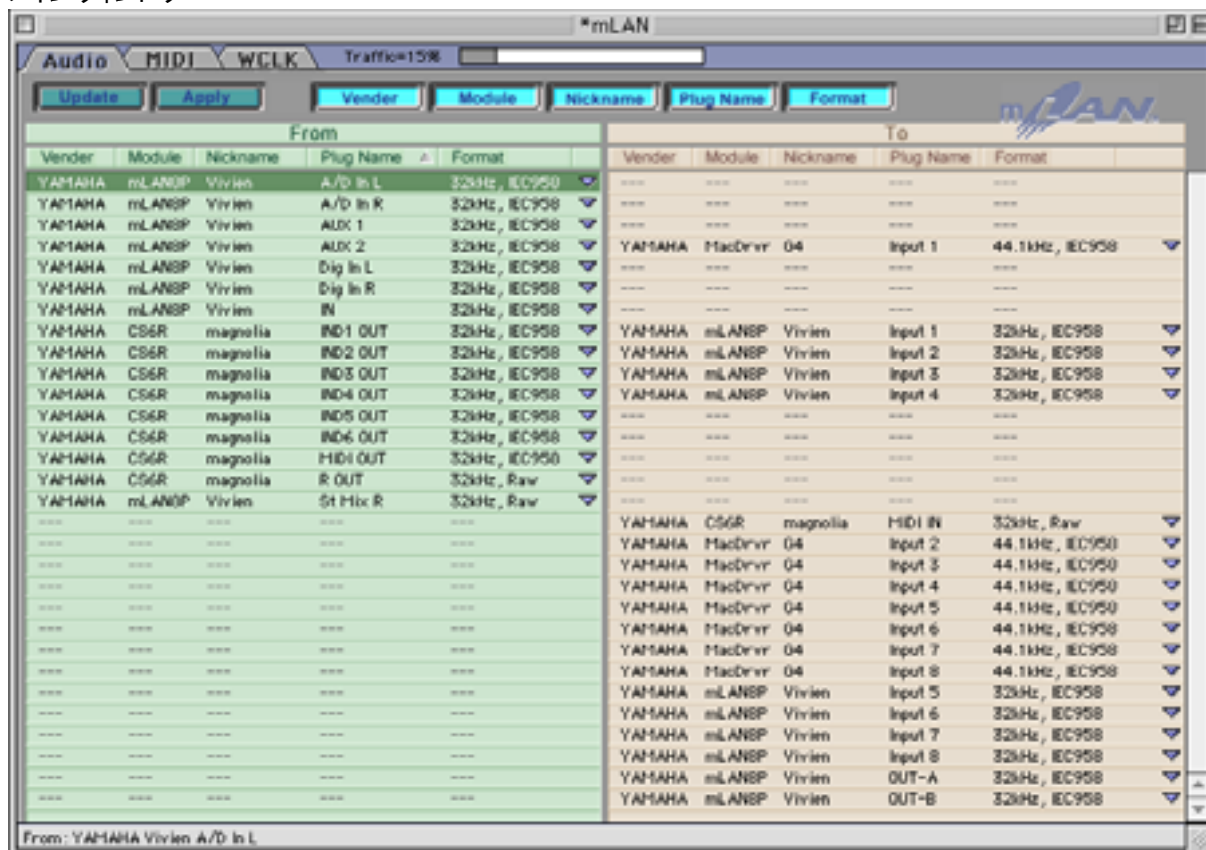
About mLAN Patchbay(A)...

mLAN Patchbay のバージョン情報を表示します。

メインウィンドウ

mLAN Patchbay を立ち上げると以下のウィンドウが現れます。

メインウィンドウ



タブ

Audio MIDI WCLK

タブをクリックすることにより、以下のページを表示することができます。

Audio: Audioプラグの接続に関するページです。

MIDI: MIDIプラグの接続に関するページです。

WCLK (ワードクロック): ワードクロックのMaster、Slaveなどの同期に関するページです。

ツールボタン



Update: バスに現在接続されている機器をデータセクションに反映させます。[Option]メニューの[Update]と同様です。

Apply: データセクションの状態をバス上の機器に反映させます。[Option]メニューの[Apply]と同様です。

Vender: Venderの表示/非表示を指定します。[View]メニューの[Column filter]の[Vender]と同様です。

Module: Moduleコラムの表示/非表示を指定します。[View]メニューの[Column filter]の[Module]と同様です。

Nickname: Nicknameの表示/非表示を指定します。[View]メニューの[Column filter]の[Nickname]と同様です。WCLKページが選択されている場合は無効となります。

Plug Name: Plug Name の表示/非表示を指定します。[View]メニューの[Column filter]の[Plug Name]と同様です。WCLKページが選択されている場合は無効となります。

Format: Formatの表示/非表示を指定します。[View]メニュー内の[Column filter]の[Format]と同様です。WCLKページが選択されている場合は無効となります。

NOTE MIDI の接続では Format の違いを考慮する必要がありません。このようなときにツールボタンの Format を使って Format を表示させないようにするといった使い方が便利です。

データリスト

Audio、MIDI ページ

From				
Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format
To				
Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format

Vender: mLAN 機器のメーカーを表示します。

Module: mLAN 機器の製品名を表示します。


Nickname: mLAN 機器のニックネームを表示します。

Plug Name: mLAN 機器のプラグ名を表示します。

Format: mLAN 機器のフォーマットを表示します。

WCLK ページ

Master		
Vender	Module	Nickname
Slave		
Vender	Module	Nickname

WC マーカー: 共通ワードクロックマークを表示します。

44 (44.1k)、48 (48k)Internal

Clock が供給されていない

Group Master

NOTE WC マーカーには、ソート機能はありません。

Vender: mLAN 機器のメーカーを表示します。

Module: mLAN 機器の製品名を表示します。

Nickname: mLAN 機器のニックネームを表示します。

Status: mLAN 機器の同期モード、ワードクロック周波数を表示します。

NOTE Audio、MIDI ページの各項目の表示/非表示の設定は共通です。ソート機能は、各ページで独立しています。

データのソート(並べ替え)

各項目の名称をクリックすると、その項目がキーとなりソートされます。各項目の名称の右にソートマークが表示されます。ソートマークが上向きの場合は昇順、逆は、降順を意味します。各項目の名称をクリックすることに昇順、降順が切り替わります。

また、各項目の名称部分を左右にドラッグして移動することにより、項目の順番を変更することができます。

ソートマーク

From					
Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format	
YAMAHA	mLAN8P	Vivien	A/D In L	32kHz, IEC958	▼
YAMAHA	mLAN8P	Vivien	A/D In R	32kHz, IEC958	▼

接続情報

Audio、MIDI ページ

mLANプラグの接続状態を表示します。Fromに出力プラグ、Toに入力プラグを表示します。未接続の場合は、“---”(ハイフン)が表示され、接続されている場合は、接続先のmLANプラグが表示されます。

Audio ページ

From					To				
Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format	Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	St Mix R	44.1kHz, 32Bit	YAMAHA	CS6R	#318_8E	L IN	44.1kHz, 32Bit
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	St Mix L	44.1kHz, 32Bit	YAMAHA	CS6R	#318_8E	R IN	44.1kHz, 32Bit
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	Dig In R	44.1kHz, 32Bit	YAMAHA	CS6R	#318_8E	IND1 IN	44.1kHz, 32Bit
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	Dig In L	44.1kHz, 32Bit	YAMAHA	CS6R	#318_8E	IND2 IN	44.1kHz, 32Bit
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	AUX 2	44.1kHz, 32Bit	YAMAHA	CS6R	#318_8E	IND3 IN	44.1kHz, 32Bit
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	AUX 1	44.1kHz, 32Bit	YAMAHA	CS6R	#318_8E	IND4 IN	44.1kHz, 32Bit
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	A/D In R	44.1kHz, 32Bit	YAMAHA	CS6R	#318_8E	IND5 IN	44.1kHz, 32Bit
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	A/D In L	44.1kHz, 32Bit	YAMAHA	CS6R	#318_8E	IND6 IN	44.1kHz, 32Bit
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	St Mix R	44.1kHz, 32Bit	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	St Mix L	44.1kHz, 32Bit	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	Dig In R	44.1kHz, 32Bit	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	Dig In L	44.1kHz, 32Bit	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	AUX 2	44.1kHz, 32Bit	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	AUX 1	44.1kHz, 32Bit	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	A/D In R	44.1kHz, 32Bit	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	A/D In L	44.1kHz, 32Bit	---	---	---	---	---

MIDI ページ

From					To				
Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format	Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	MIDI Out1	44.1kHz, MIDI	YAMAHA	CS6R	#318_8E	MIDI IN	44.1kHz, MIDI
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	MIDI Out1	44.1kHz, MIDI	YAMAHA	CS6x	#301_8E	MIDI IN	44.1kHz, MIDI
YAMAHA	CS6x	#301_8E	MIDI OUT	44.1kHz, MIDI	---	---	---	---	---
YAMAHA	CS6R	#318_8E	MIDI OUT	44.1kHz, MIDI	YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	MIDI In1	44.1kHz, MIDI


WCLK ページ

mLAN機器のMaster、Slaveなど、同期状態を表示します。Master、Slaveの関係になっていない場合は、“---”(ハイフン)が表示され、Master、Slaveの関係になっている場合は、相手先mLAN機器が表示されます。グループマスターに設定されているmLAN機器の場合、WCマーカーに **G** マークが表示されます。

Master				Slave			
Vender	Module	Nickname		Vender	Module	Nickname	
---	---	---		YAMAHA	CS6R	magnolia	Auto: ▾
---	---	---		YAMAHA	mLAN8P	Vivien	Internal: ▾
G	YAMAHA	MacDrvr	MacDrvr ▾	---	---	---	---

操作方法

コネクションの設定

“From” (または“To”) フィールドで  マークをクリック (Macintosh の場合) または右クリック (Windows の場合) すると、接続可能な mLAN プラグがポップアップメニューに表示されます。表示されたポップアップメニューのサブメニューをたどりながら mLAN プラグを指定し、クリックをするとその接続が決定されます。ただし、グレイアウト (薄い色の字) で表示されている mLAN プラグは選択できません。また “— — —” と表示されている部分でのクリック (Macintosh の場合) または右クリック (Windows の場合) は、無効となります。

“From” フィールドにて “To” mLAN プラグを指定

From					To				
Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format	Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	St Mix R	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA/	Module	CS6x	L	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA/	Nickname	mLAN8P	#205_8P	IEC958	---	---	---	---	---
Property...		CS6R	#204_8P	Input 1	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	AUX 1	44.1kHz	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	A/D In R	44.1kHz	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	A/D In L	44.1kHz	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	St Mix R	44.1kHz	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	St Mix L	44.1kHz	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	Dig In R	44.1kHz	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	Dig In L	44.1kHz	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	AUX 2	44.1kHz	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	AUX 1	44.1kHz	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	A/D In R	44.1kHz	---	---	---	---	---

クリック (Macintosh の場合) または Ctrl キーを押しながら右クリック (Windows の場合) すると、次のイラストのように Nickname からの選択になります。ポップアップメニューで mLAN プラグが表示される際、一時的に接続できない mLAN プラグ (接続済みの “To” mLAN プラグを、別の “From” mLAN プラグに接続しようとしたときなど) は表示はしますが、選択できません。

クリック (Macintosh の場合) または Ctrl キーを押しながら右クリック (Windows の場合)

From					To				
Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format	Vender	Module	Nickname	Plug Name	Format
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	St Mix R	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
#301_8E	P	#205_8P	St Mix L	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
#205_8P	P	#205_8P	Dig In R	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
#318_8E	P	#205_8P	Dig In L	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
#204_8P	P	#205_8P	AUX 2	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
Property...		#204_8P	Input 1	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN	Input 2	A/D In R	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN	Input 3	A/D In L	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN	Input 4	St Mix R	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN	Input 5	St Mix L	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN	Input 6	Dig In R	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN	Input 7	Dig In L	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN	Input 8	AUX 2	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN	Input 7	AUX 1	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN	Input 8	A/D In R	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---
YAMAHA	mLAN	Input 8	A/D In L	44.1kHz, IEC958	---	---	---	---	---

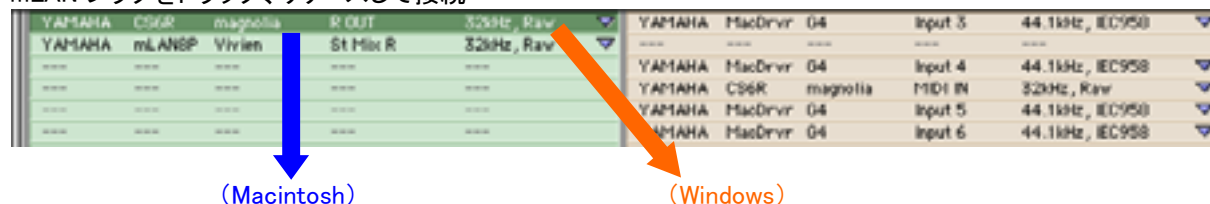
NOTE Shift を押しながら選択すると、Edit メニューの Connect All と同様に機能します (Windows)。

NOTE ポップアップメニューは Space キーを押すことでも表示させることができます。この操作の際の Ctrl キーも有効です。また、ポップアップメニューは、Alt キーを押すことで消去することができます。

NOTE mLAN プラグをドラックし、接続したい mLAN プラグ上でリリースすることでも接続が可能です。ただし、選択およびドラッグできる mLAN プラグは、1つです。

NOTE Shift を押しながらリリースすると、Edit メニューの Connect All と同様に機能します (Windows)。

mLAN プラグをドラッグ、リリースして接続




次のイラストのようにソートによっては、1つの“From” mLAN プラグに複数の“To” mLAN プラグが接続されて表示される場合があります。“From” mLAN プラグには、同一 mLAN プラグと言う意味でスペース(空)が表示されます。

このような場合を除けば、通常の接続された状態は、1つの“From” mLAN プラグに対して1つの“To” mLAN プラグが表示されます。

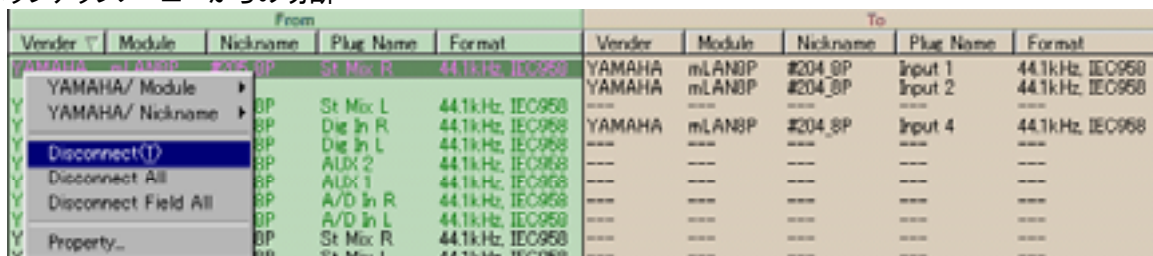
編集後のデータ部

From					To				
Vendor	Module	Nickname	Plug Name	Format	Vendor	Module	Nickname	Plug Name	Format
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	St Mix R	44.1kHz, IEC958	YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	Input 1	44.1kHz, IEC958
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	St Mix L	44.1kHz, IEC958	YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	Input 2	44.1kHz, IEC958
YAMAHA	mLAN8P	#205_8P	Dig In R	44.1kHz, IEC958	YAMAHA	mLAN8P	#204_8P	Input 4	44.1kHz, IEC958


コネクションの切断

接続されている mLAN プラグ上で  マークをクリック (Macintosh の場合) または右クリック (Windows の場合) すると、次のイラストのように Disconnect コマンドがメニューに追加され、選択することで接続を切り離すことができます。また Disconnect All を選択すると、クリックした“モジュール”のすべての接続が切り離されます。

ポップアップメニューからの切断



Master、Slave の設定

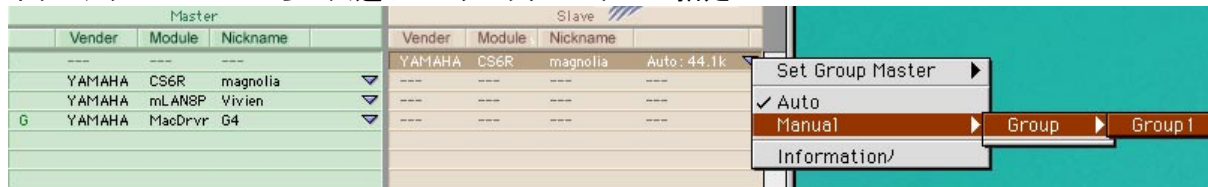
Slave 側の mLAN 機器上で  マークをクリック (Macintosh の場合) または右クリック (Windows の場合) することにより、Master に設定可能な mLAN 機器が表示されます。表示されたポップアップメニューのサブメニューをたどりながら Master に設定したい mLAN 機器を指定し、クリック (Macintosh の場合) または左クリック (Windows の場合) するとその Slave の mLAN 機器が Master の mLAN 機器と繋がります。

ポップアップメニューからの Master の指定



バス上にグループマスターがある場合は、次のイラストのように Manual モードの Group1 サブメニューを選択すると、グループマスターがない場合は、Status のみ Manual : Group1 に設定し、いつでも Group Master に同期するための準備をします。

ポップアップメニューからの共通ワードクロックマスターの指定



また、Slave の mLAN 機器が Manual モードのときは、そのアイテムをドラッグし、Master に設定したい mLAN 機器の上でリリースすることで、Master と Slave の設定ができます。

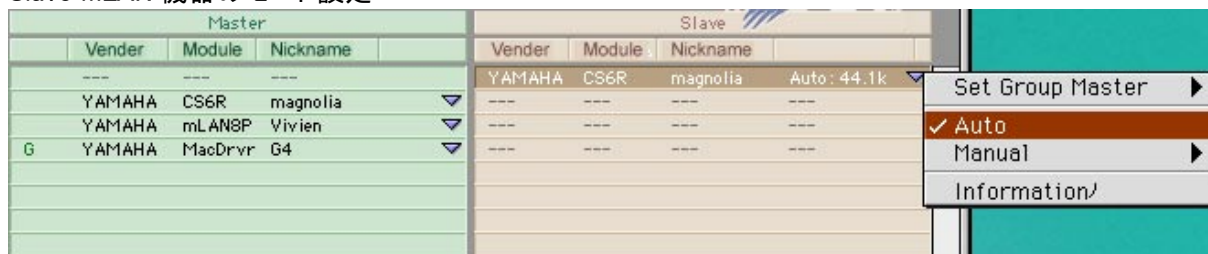
Slave mLAN 機器ドラッグ、リリースして Master の指定

Master			Slave		
Nickna...	Module		Nickname	Status	Module
magnolia	CS6R	Vivien	Manual Mode, Others	mLAN8P	---
---	---	---	magnolia	Auto Mode, 44.1kHz	CS6R
---	---	---	Vivien	Manual Mode, Others	mLAN8P

Master、Slave のモード設定

Slave 側の mLAN 機器上でクリック (Macintosh の場合) または右クリック (Windows の場合) すると、mLAN 機器の能力により Slave モードを設定することができます。

Slave mLAN 機器のモード設定



Master 側の mLAN 機器上でクリック (Macintosh の場合) または右クリック (Windows の場合) すると、mLAN 機器の能力によりグループマスターの設定/解除ができます。ただし、グループマスターの機能を持たない mLAN 機器の場合、この設定はできません。

Master mLAN 機器の共通ワードクロック設定

